

## 第 173 回山行記 大菩薩嶺(2,056m)2023/6/26



2023年6月26日(月)、山梨県の大菩薩嶺に登りました。参加者は15名(女性6名、男性9名)。梅雨時の最中ということで直前まで天気を心配しましたが、幸い雨には降られず実施できました。大菩薩嶺は「日本百名山」の一つで、中里介山の『大菩薩峠』でも有名。山楽会としては、2016年6月に登って以来で、今回は前回とは逆回りのコースでした。

### <行程>

**バス往路:** 谷津船橋 IC(5:50)～中央自動車道 談合坂 SA(7:15～7:35)～勝沼 IC(8:00)～上日川峠第3市営駐車場(8:55)

**登山行程:** 標高差 556m(上り、下りとも)、距離 7.2km

上日川峠駐車場  (9:15 発)～福ちゃん荘  (9:40)～雷岩(11:00)～大菩薩嶺(11:20)～雷岩(11:35～12:15) <昼食>～さいの河原避難小屋(12:40)～大菩薩峠・介山荘(13:00～13:15)  (13:55)～上日川峠駐車場  ・ロッジ長兵衛(14:15 着～15:05)

**バス復路:** 上日川峠第3市営駐車場(15:05 発)～勝沼 IC～中央自動車道 石川 PA(17:20～17:35)～谷津船橋 IC(18:40 着)

今回山行計画を主導した M さんから主な行程を説明した後、新入会の SH さんを含む 15 名の参加者を乗せたマイクロバスは、谷津船橋 IC から東関道、首都高、中央道を通り、勝沼 IC で一般道に入りました。途中、談合坂 SA で休憩をはさみながら、渋滞にも一切遭わず、快適そのもの。上日川峠駐車場に到着後、トイレと SA さん指導の恒例の準備体操を済ませました。そして下山後この場所(ロッジ長兵衛)で生ビールを飲めることを確認、モチベーションがぐっと上がり、登山開始です。

SEさんを先頭に福ちゃん荘を通過して登って行くと、セミの大合唱。初めは別のセミと勘違いしましたが、合唱団はヒグラシでした。下界では未だヒグラシの鳴き声は聞いておらず、時季が早いなあとの印象です。カラマツ林が少なくなってきた辺りから、薄紅色の花が所々で見られました。つつじの仲間のサラサドウダンで、つぼ型の花弁が可憐。

さらに登って行くと、標高 1,800m 辺りから急坂に。まさに胸突き八丁ですが、こうした登りも登山の醍醐味と自らを言い聞かせながら、ようやく一同、雷岩に到着。



一旦呼吸を整えた後、ゆるやかな登り道をしばらく歩くと大菩薩嶺頂上に到着。標高 2,056m。周囲の樹々で眺望が効かないため、早々に雷岩までもどり、そこでランチタイムとなりました。登ってくる途中は雲が多く眺望が効かなかったのですが、雷岩では、視界がかなり広がり、大菩薩湖(上日川ダム)を眼下に望むことができました。



雷岩から急な岩場の下りが一カ所ありましたが、その後は草原の

ような景観の気持ちのよい道をくだり、先ずさいの河原避難小屋に。周辺には名前の通り石積みがあったところにあった一方、朱色の花が鮮やかなレンゲツツジも見られました。そこから下りで大菩薩峠に到着、全員で記念写真を撮影。ふと下を見ると、茎をぐるっと一周して咲く薄紫色の花がありました。クリンソウです。ここで見られるとは思っておらず得した気分でした。



ここからゆるやかながらやや長い下りを歩き、福ちゃん荘に到着。玄関脇の看板に、「皇太子様雅子様ご休憩所」と書かれていました。2002年9月に大菩薩に登られた折とのことです。さらに少し下りロッジ長兵衛に到着、ストレッチをしっかりとって無事登山終了。その後、ここで、生ビール、ノンアルコール、アイスクリームなど、それぞれの嗜好で乾杯！（いつもよりも時間を長目に取れて良かった。）帰りの高速道路で事故渋滞も少しありましたが、おおむね予定時刻通りに帰着できました。皆様、おつかれさまでした。（M.Y.記）



サラサドウダン



レンゲツツジ



クリンソウ